



2024年11月13日

各位

会社名 株式会社まぐまぐ
代表者名 代表取締役社長 熊重 晃
(コード番号: 4059 東証スタンダード)
問合せ先 取締役 CSO 兼 CFO 浅野 匡志
(TEL. 03-5719-5703)

業績予想値と実績値との差異および特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2024年9月期決算において特別損失を計上するとともに、2023年11月13日に公表した業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので併せてお知らせいたします。

記

1. 2024年9月期(2023年10月1日~2024年9月30日)通期業績予想数値との実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 450	百万円 2	百万円 2	百万円 1	円 銭 0.44
実績(B)	454	5	5	△84	△30.04
増減額(B-A)	4	3	3	△85	—
増減率(%)	0.9	257.3	257.9	—	—
(ご参考)前期実績 (2023年9月期)	475	△78	△78	△478	△170.13

2. 差異の理由

売上高、営業利益および経常利益につきましては、プラットフォーム事業およびメディア広告事業の業績が好調に推移したため、いずれも前回発表予想を上回りました。

一方で、のれん等および投資有価証券にかかる減損損失7百万円および投資有価証券評価損81百万円を特別損失として計上したため、当期純利益につきましては、前回発表予想を下回りました。

3. 特別損失の計上について

当社は、競争優位性を確保していくため、積極的に成長産業分野への出資およびマーケティング戦略への投資を実施してまいりましたが、外部環境や競争環境の変化等により、一部サービスの廃止および慎重に実現可能性を検討した中期経営計画をもとに将来の収益獲得見込およびキャッシュ・フローを見積もった結果、当事業年度においてのれんを中心とした固定資産について、7百万円を減損損失として計上する事といたしました。また、当社の保有する投資有価証券(市場価格のない株式)について、取得時の超過収益力の検討にあたり、投資先企業の直近の財政状態、事業の進捗状況およびその他定性情報等をもとに、将来事業計画の実現可能性を検討し、当該事業計画に基づいた超過収益力を算定した結果、81百万円を投資有価証券評価損として計上することとなりました。

今回の特別損失計上により、一時的に自己資本を毀損することとなりますが、今後の財政状態・経営成績に関しては前向きな要素と捉えています。

当社は2023年12月に社長交代をして新体制がスタートしていますが、今回の意思決定により、

- ・まぐまぐ! Liveのサービス終了に伴うサーバーコストダウンが年間で約10百万円見込めます。
- ・投資先企業の主要事業においては、引き続き売上高が伸長しており、長期の上場またはM&Aを見据え、当社とのシナジーやキャピタルゲインを目指す方向性は変わっていません。

また、上記の点を含めて、既存メディアやメルマガ発行者のリクルートに広告費や人材等を集約することで、利益率の改善、経営リソースの最適化を実現し、的確に変化に対応できる体制の構築を図ってまいります。

これらのことから翌事業年度（2025年9月期）以降の業績には、償却コストおよびサーバーコスト等の軽減が寄与することに加え、新体制移行後のWEBメディアのタイアップ広告強化、クリエイターリクルートの強化およびM&Aへの資源投入を通じて、将来における当社の安定した業務遂行やクライアントへの付加価値提供を可能にし、両事業における収益性は大幅な改善をするものと見込んでおります。

なお、2025年9月期の業績予想等に関しては、本日公表の「2024年9月期決算短信」にて開示を行っております。

以 上